

## 著作目録(小栗浩)

著者	東北大学史料館
号	224
発行年	1984-03
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10097/63399">http://hdl.handle.net/10097/63399</a>

# 小 栗 浩 教 授 著 作 目 録

昭 和 59 年 3 月

東 北 大 学 記 念 資 料 室

(著 作 目 録 第 224 号)



## 小 栗 浩 教 授 略 歴

大正9年(1920) 5月22日 函館市に生まれる  
昭和11年(1936) 3月 小樽中学校4年修了  
昭和11年(1936) 4月 弘前高等学校文科乙類入学  
昭和14年(1939) 3月 同卒業  
昭和14年(1939) 4月 東京帝国大学文学部独文学科入学  
昭和16年(1941) 12月 同卒業  
昭和17年(1942) 1月 東京大学大学院入学  
昭和18年(1943) 5月 教育召集により3ヵ月軍務につく  
昭和19年(1944) 4月 臨時召集により入隊  
昭和20年(1945) 9月 召集解除  
昭和21年(1946) 2月 松本高等学校講師  
昭和22年(1947) 9月 東京大学大学院修了  
昭和23年(1948) 3月 松本高等学校教授  
昭和24年(1949) 1月 北海道大学法文学部助教授  
昭和25年(1950) 4月 同文学部助教授  
昭和34年(1959) 8月 文部省在外研究員として西ドイツ国へ出張(35年10月帰国)  
昭和39年(1964) 5月 北海道大学文学部教授  
昭和42年(1967) 1月 北海道大学評議員  
昭和43年(1968) 4月 「西東詩集」研究により文学博士(東京大学)の学位を受ける  
昭和44年(1969) 12月 北海道大学文学部長事務取扱, 大学院文学研究科長, 北方文化研究施設長  
昭和46年(1971) 8月 右を辞する  
昭和48年(1973) 4月 東北大学文学部教授  
昭和50年(1975) 10月 ドイツ学術交換局(DAAD)により西ドイツ国へ出張(51年1月帰国)  
昭和52年(1977) 6月 文部省大学設置審議会基準分科会委員(現在にいたる)  
昭和54年(1979) 4月 東北大学評議員(56年3月まで)  
昭和59年(1984) 4月 停年により東北大学教授を退官

＊非常勤講師として, 北海道大学, 北海学園大学, 北星学園大学, 北海道工業大学, 東北工業大学, 東北学院大学, 山形大学, 弘前大学, 名古屋大学, 岡山大学, 九州大学, 高知大学, 千葉大学, 筑波大学に出講

＊学会では, 日本独文学会理事, 東北ドイツ文学会(日本独文学会東北支部)長(59年3月まで), をへて現在日本ゲーテ協会理事

## 著 作 目 録

## 著 書

- |   |              |         |           |
|---|--------------|---------|-----------|
| 1 | 『「西東詩集」研究』   | 郁 文 堂   | 昭和47年 2 月 |
| 2 | 『人間ゲーテ』      | 岩 波 書 店 | 昭和53年 5 月 |
| 3 | 『近代ドイツ文学論集』  | 東 洋 出 版 | 昭和57年 5 月 |
| 4 | 『ドイツ古典主義の成立』 | 東 洋 出 版 | 昭和58年 5 月 |

## 論 文

- |      |  |         |           |
|------|--|---------|-----------|
| 1**  | クリスティアーン・ディートリヒ・グラッペ<br>「ドイツ文学における悲劇性とその超克」所収              | 郁 文 堂   | 昭和24年 5 月 |
| 2**  | F・M・クリンガー論 北大文学部紀要 2                                       |         | 昭和28年 3 月 |
| 3    | Schiller und die Gegenwart ドイツ文学12                         |         | 昭和29年 5 月 |
| 4    | Herders Humanitätsidee ドイツ文学14                             |         | 昭和30年 5 月 |
| 5**  | ヘルマン・ヘッセの精神をめぐって<br>「ヘッセ研究」所収                              | 三 笠 書 房 | 昭和33年 4 月 |
| 6    | Über Wilhelm Meisters Lehrjahre<br>ドイツ文学22                 |         | 昭和34年 5 月 |
| 7**  | シラー「ヴァレンシュタイン」の一考察<br>ゲーテ年鑑 1, 日本ゲーテ協会                     |         | 昭和34年 5 月 |
| 8**  | H・マン「アンリ四世」<br>「現代ドイツ文学」所収                                 | 有 信 堂   | 昭和34年12月  |
| 9*   | 「西東詩集, ブライカ書」について<br>北大文学部紀要11                             |         | 昭和38年 3 月 |
| 10** | ゲーテとグラッペ<br>ゲーテ年鑑 5, 日本ゲーテ協会                               |         | 昭和38年 5 月 |
| 11*  | 「ローマのエレギー」<br>北大文学部紀要12                                    |         | 昭和39年 3 月 |
| 12** | A・シュヴァイツァーのゲーテ<br>観 ゲーテ年鑑 6, 日本ゲーテ協会                       |         | 昭和39年 5 月 |
| 13*  | 「西東詩集, 天国の書」について<br>「ドイツ文学における伝統と革新」<br>(手塚富雄教授還暦記念論文集) 所収 | 筑 摩 書 房 | 昭和40年 3 月 |

14**	「西東詩集」の精神 ゲーテ年鑑7, 日本ゲーテ協会				昭和40年4月
15*	「西東詩集, 酌童の書」について 北大文学部紀要14・1				昭和40年11月
16	ヘレナ ゲーテ年鑑8, 関西ゲーテ協会				昭和43年6月
17	宮廷のファウスト ゲーテ年鑑10, 日本ゲーテ協会				昭和43年5月
18	古典のヴァルプルギスの夜 ゲーテ年鑑9, 関西ゲーテ協会				昭和44年12月
19	「ファウスト 第二部」研究(1) 北大文学部紀要18・1				昭和45年3月
20	高山と戦争 ノルデン8				昭和46年8月
21	ファウストと夢い ゲーテ年鑑17, 日本ゲーテ協会				昭和50年5月
22**	マリアンネ・フォン・ヴィレマー ——その生涯の素描—— ゲーテ年鑑12, 関西ゲーテ協会				昭和51年7月
23**	ヘルダーにおける文学批評と文学史 ドイツ文学57				昭和51年10月
24**	ヘレナ誕生 ユリイカ	青	土	社	昭和53年6月
25	Goethe und die östliche Geistigkeit ——in Zusammenhang mit Herder—— ゲーテ年鑑20, 日本ゲーテ協会				昭和53年10月
26**	ゲーテとヘーゲル 現代思想	青	土	社	昭和53年12月
27**	ゲーテとルソー 現代思想	青	土	社	昭和54年12月
28	ファウストの死と救済 ゲーテ年鑑15, 関西ゲーテ協会				昭和55年4月
29**	ゲーテとシューベルト 音楽の手帖	青	土	社	昭和55年10月
30	「ファウスト 第一部」私見 ゲーテ年鑑22, 日本ゲーテ協会				昭和55年10月
31	Goethes Liebesauffassung ——in Vergleich mit derjenigen in der japanischen Literatur—— ゲーテ年鑑, 日本ゲーテ協会				昭和58年10月
32	「ファウスト第一部」の構成について 「ドイツ文学論集」所収	東	洋	出 版	昭和59年1月

注 上記論文のうち, \*は著書1に, \*\*は著書3に収めてある。

訳 訳

- |    |   |                             |                       |
|----|---|-----------------------------|-----------------------|
| 1  | グラッペ「ドン・ジュアンとファウスト」   | 育 生 社<br>後に現代思潮社<br>古 典 文 庫 | 昭和23年12月<br>昭和42年 6 月 |
| 2  | ハウプトマン「ハンネレの昇天」<br>現代ドイツ文学全集 1  | 河 出 書 房                     | 昭和29年 6 月             |
| 3  | ヘッセ「思い出草」 ヘッセ全集15   | 三 笠 書 房                     | 昭和32年 5 月             |
| 4  | C・F・マイヤー「説教壇から射つ」<br>世界文学大系91, 近代小説集                                      | 筑 摩 書 房                     | 昭和39年 9 月             |
| 5  | ハインリヒ・マン「臣下」 世界文学全集45   | 筑 摩 書 房                     | 昭和42年 6 月             |
| 6  | クラウス・マン「マン家の人々」   | 晶 文 社                       | 昭和45年 8 月             |
| 7  | ハインリヒ・マン「歴史と文学」   | 晶 文 社                       | 昭和46年 8 月             |
| 8  | ヴェルフェル「ホテルの階段」<br>ノサック「カサンドラ」 ドイツ短篇24                                     | 集 英 社                       | 昭和46年11月              |
| 9  | ハインリヒ・マン「アンリ四世の青春」  | 晶 文 社                       | 昭和48年11月              |
| 10 | ディルタイ「人間の一般的な性質を文学はいかにして個性化するか」 世界批評大系 1                                  | 筑 摩 書 房                     | 昭和49年 6 月             |
| 11 | ヘルダー「歴史哲学異説」(七字慶紀と共訳)<br>ゲーテ「芸術論」 世界の名著続 7                                | 中 央 公 論 社                   | 昭和50年 5 月             |
| 12 | ノサック「待機」 世界の文学20  | 集 英 社                       | 昭和52年 2 月             |
| 13 | ゲーテ「ヴィルヘルム・マイスターの演劇的<br>使命」 世界文学全集19                                      | 講 談 社                       | 昭和52年10月              |
| 14 | ブルガー「ヨーロッパの貴族の理想とドイツ<br>古典主義」(永井義哉と共訳)<br>H・O・ブルガー編著「ドイツ古典主義研究」<br>相良守峯監修 | エ ン ヨ ー                     | 昭和54年12月              |
| 15 | ゲーテ「トルクヴァート・タッソー」<br>ゲーテ全集 5  | 潮 出 版 社                     | 昭和55年 1 月             |
| 16 | C・F・マイヤー「ベスカラの誘惑」<br>世界文学全集42   | 集 英 社                       | 昭和56年 5 月             |
| 17 | ゲーテ「書簡」 ゲーテ全集15   | 潮 出 版 社                     | 昭和56年11月              |

## 随想・書評など

- |    |                                   |           |
|----|-----------------------------------|-----------|
| 1  | 憂鬱断想 北大季刊 4                       | 昭和28年 6 月 |
| 2  | トーマス・マンの死をめぐって<br>北海道大学新聞         | 昭和28年 8 月 |
| 3  | 春日断想 北大季刊12                       | 昭和32年 6 月 |
| 4  | ほろにが 新壘28                         | 昭和33年 1 月 |
| 5  | 信州にて 初雁26                         | 昭和33年 7 月 |
| 6  | 先生の思い出 古酒 2                       | 昭和35年 1 月 |
| 7  | 下宿の人々——私のヨーロッパ生活(1)<br>北大季刊20     | 昭和36年 6 月 |
| 8  | ゆめゲッツと言わざること ボーデン                 | 昭和36年 9 月 |
| 9  | ドイツ語教育雑感 ブルンネン52                  | 昭和37年 3 月 |
| 10 | ドイツの大学生生活——私のヨーロッパ生活(2)<br>北大季刊24 | 昭和38年 6 月 |
| 11 | 教師の立場から 胎動 1 (北大文学部自治会)           | 昭和40年 3 月 |
| 12 | 弘前のこと ラテルネ13                      | 昭和40年 9 月 |
| 13 | 札幌のこと、北大のこと ラテルネ15                | 昭和41年 9 月 |
| 14 | 北大のことなど ひろの 6                     | 昭和41年10月  |
| 15 | ヘッカー先生のこと ブルンネン100                | 昭和42年 9 月 |
| 16 | 教育者ヘッカー先生 北大季刊30                  | 昭和42年12月  |
| 17 | ヘッカー先生と古典 フラテ54<br>(北大医学部学会)      | 昭和42年12月  |
| 18 | ストリンドベルイ回想 北海タイムス                 | 昭和43年 1 月 |
| 19 | 行徳の俎 ラテルネ18                       | 昭和43年 3 月 |
| 20 | 学会をめぐっての感想 北海タイムス                 | 昭和43年 5 月 |
| 21 | エントリヒーついに ラテルネ25                  | 昭和46年 9 月 |
| 22 | 北方ということ フロンティア16                  | 昭和47年 3 月 |
| 23 | 信州の風 ブルンネン146                     | 昭和47年 9 月 |
| 24 | ダンテの墓 ブルンネン150                    | 昭和48年 1 月 |

- |    |   |           |
|----|---|-----------|
| 25 | 札幌から仙台へ カスターニエン26   | 昭和48年12月  |
| 26 | ザンデルスのこと ラテルネ31   | 昭和49年 4 月 |
| 27 | ひょうたんのこと 国際時評   | 昭和50年 4 月 |
| 28 | 高橋義孝著「ファウスト集注」 図書新聞                                       | 昭和50年 6 月 |
| 29 | 若い日のこと 広島大学ドイツ文学論集  | 昭和51年 3 月 |
| 30 | ドイツ文芸学管見 岩波講座文学月報 5                                       | 昭和51年 4 月 |
| 31 | 教室の風景 東北ドイツ文学会会報17  | 昭和51年 4 月 |
| 32 | ハウプトマン断想 ブルンネン183   | 昭和51年 5 月 |
| 33 | 川内散歩 ラテルネ36   | 昭和51年 9 月 |
| 34 | 思い出すこと べりひて17<br>(相良会長半寿記念号)                              | 昭和51年10月  |
| 35 | 札幌回想 ラテルネ38   | 昭和52年 9 月 |
| 36 | 「唱和の世界——ゲーテ『西東詩集』理解の<br>ために——」 菊池栄一先生への書簡<br>東京大学比較文学研究33 | 昭和53年 5 月 |
| 37 | ザンデルス再言 カスターニエン35   | 昭和54年10月  |
| 38 | 翻訳雑感 べりひて23<br>(ゲーテ没後150年記念号)                             | 昭和57年 5 月 |
| 39 | ドイツ語のことなど 東北大学教養部報50                                      | 昭和55年10月  |
| 40 | ゲーテ全集、生前最後の版について クロノス                                     | 昭和56年     |
| 41 | 「19世紀ドイツ文学の展望」<br>——気がついた 2, 3 のこと ドイツ文学69                | 昭和57年10月  |
| 42 | 手塚富雄著「ゲーテ」 週間読書人  | 昭和57年10月  |
| 43 | ゲーテ没後150年 図書新聞  | 昭和57年11月  |
| 44 | 断腸の記 ラテルネ49   | 昭和58年 2 月 |
| 45 | 郁文堂「和独辞典」(第二版) 週間読書人                                      | 昭和58年 6 月 |



## 参 考 書

- |   |         |       |           |
|---|---------|-------|-----------|
| 1 | 独文解釈の演習 | 郁 文 堂 | 昭和36年10月  |
| 2 | 和文独訳の演習 | 郁 文 堂 | 昭和46年 9 月 |

## 教 科 書

- |   |   |           |           |
|---|---|-----------|-----------|
| 1 | 規範ドイツ文法                                       | 郁 文 堂     | 昭和34年 4 月 |
| 2 | 演習ドイツ文法（永井義哉と共編）                              | 第 三 書 房   | 昭和35年 3 月 |
| 3 | 基本ドイツ文法（登張正実と共編）                              | 郁 文 堂     | 昭和39年 3 月 |
| 4 | 新ドイツ語初歩（ディーター・シューマー,<br>ユルゲン・フリートマンと共編）       | 朝 日 出 版 社 | 昭和43年 4 月 |
| 5 | ドイツ語の基礎（小島 衛, 新妻 篤, 吉田<br>敏彦と共編）              | 三 修 社     | 昭和43年 4 月 |
| 6 | J. Wassermann: Aurora（青柳謙二と共編）                | 東 洋 出 版   | 昭和44年 9 月 |
| 7 | 実用ドイツ語（ディーター・シューマー, ユ<br>ルゲン・フリートマン, 植木迪子と共編） | 朝 日 出 版 社 | 昭和45年 4 月 |
| 8 | P. Weiss: Fluchtpunkt（中村啓と共編）                 | 東 洋 出 版   | 昭和57年 4 月 |